

牧野富太郎博士の書斎再現展示



書斎の全容は、
牧野記念庭園へ！

当時の本や文房具の復元には、多大な労力と知恵を必要とし、配置など細部にもこだわり約1年かけて制作しました。博士ならではの工夫が詰まった書斎をぜひ、ご覧ください。

書斎の再現には目標額の500万円を超える寄付が集まりました。
たくさんのご支援、ありがとうございました。

書斎の見どころを紹介



古書や蔵書を撮影して作成したレプリカなど、約3,000冊を展示。当時の色鮮やかな本の表紙を再現するため、手書きで作成した本もあります！



博士が使っていたはさみは、鹿児島県種子島のはさみ（種子鋏）と判明。種子島の職人が特別に制作したものを展示しています！（写真左上）



標本を作る際に使用した実際の新聞も展示。高知県立牧野植物園が所蔵していた、関東版の新聞などを特別にいただきました！